

課かい名	広域事業政策課
施策目標	国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報										平成26年度評価								
事務事業				対象 (顧客)	事業の 性質区分	指標・目標			実績				事後評価					
事業 No.	総括 フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動		決算内訳 (千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動 指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)				
1	総	新湘南国道 (Ⅱ期)の整備促進	国道134号及び 国道1号の慢 性的な交通渋 滞の解消を図り、 良好な交通環境 を得るために、 残る新湘南国道 Ⅱ期事業の早期 整備の実現を図 る。	市民	政策	関係機関への要 望回数	10回	10回	10回						10回	A	関係市町で組織する新湘南国道並びに藤沢大磯線(湘南新道)新設改良促進協議会を通じ、積極的な要望活動を行った。	
1		新湘南国道 (Ⅱ期)の整備促進								近隣市町との連 携を図り、早期 整備の促進要望 を行う。	関係機関への 要望回数	10回	10回					
1		新湘南国道 (Ⅱ期)の整備促進																
2	総	新湘南バイパス 料金無料化の促進	新湘南バイパス 料金無料化及び 引下げにより、 通過交通車両を 市内の一般道路 から、新湘南バ イパスへ誘導す ることにより渋 滞緩和を図る。	市民	政策	関係機関への要 望回数	10回	10回	10回						10回	A	さがみ縦貫道路の全面供用開始にあわせた料金見直しの要望を積極的に行った。	
2		新湘南バイパス 料金無料化の促進								さがみ縦貫道路 の全線供用開始 の状況を踏ま え、関係機関へ 料金引き下げ等 の要望を行う。	関係機関への 要望回数	10回	10回					
3	総	藤沢大磯線の 整備促進	さがみ縦貫道路 とともにアクセ ス道路の整備は 必須であること から近隣市町と の連携を図り、 関係機関へ早期 整備を要望す る。	市民	政策	関係機関への要 望回数	20回	20回	20回						20回	A	新湘南国道並びに藤沢大磯線(湘南新道)新設改良促進協議会を通じ、積極的な要望活動を行った。	

基礎情報			平成27年度計画						経営改善方針の重点事項に係る取組						広域連携に関する取組		今後の事業展開						
事務事業			活動						経営改善方針での位置付け等	経営改善による取り組みの方向性	目標 (数値目標等)	目標の定義	改善時期 (年度)	具体的な改善内容	広域連携の実施	広域連携の具体的な内容	必要性				事業の方向性	予算の方向性	
事業No.	総括フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	活動	活動量・サービス量		従事者数	予算内訳(千円)										業務計画	①目的達成	②ニーズ	③成果			④継続性
				活動指標の名称	目標値		当該事務事業全体の予算額(合計)	活動ごとの予算額															
1	総	新湘南国道(Ⅱ期)の整備促進				0.02	33,005	33,005		なし				済	各種協議会等を通じて近隣市町と連携をはかり要望活動を行っている。	未	高	高	高	現状維持	予算なし		
1		新湘南国道(Ⅱ期)の整備促進	近隣市町との連携を図り、関係機関へ早期整備を要望する。	関係機関への要望回数	10回																予算なし		
1		新湘南国道(Ⅱ期)の整備促進	庁内関係課、国、県等と整備に係る課題等について協議、調整を行う。	協議、調整の回数	5回																予算なし		
2	総	新湘南バイパス料金無料化の促進				0.08				なし				済	各種協議会等を通じて近隣市町と連携をはかり要望活動を行っている。	未	高	高	高	現状維持	予算なし		
2		新湘南バイパス料金無料化の促進	さがみ縦貫道路の全線供用開始の状況を踏まえ、関係機関へ料金引き下げ等の要望を行う。	関係機関への要望回数	10回																予算なし		
3	総	藤沢大磯線の整備促進				0.07				なし				不可		未	高	高	高	現状維持	予算なし		

課かい名	広域事業政策課
施策目標	国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報						平成26年度評価												
事務事業				対象 (顧客)	事業の 性質区分	指標・目標			実績					事後評価				
事業 No.	総括 フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動		決算内訳 (千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)				
3		藤沢大磯線の 整備促進							近隣市町との連 携を図り、側道 等の付帯整備の 促進や年度内での 側道移管に向け た協議、調整を 行う。	関係機関への 要望、協議、 調整	20回	20回						
3		藤沢大磯線の 整備促進							大山街道の今後 の整備等に係わ る地元調整。	地元との調整 回数	3回	2回						
3		藤沢大磯線の 整備促進							大山街道の今後 の整備等に係わ る庁内調整。	庁内調整の回 数	3回	3回						
4	総	新湘南国道並 びに藤沢大磯 線(湘南新 道)新設改良 促進協議会	茅ヶ崎市の経済 発展や交通環境 向上のため協議 会構成市町と連 携を図り、関係 機関へ早期整備 を要望する。	市民	定例 定型	関係機関への要 望回数	5回	5回	5回				100		5回	A	新湘南国道並びに藤沢大 磯線(湘南新道)新設改 良促進協議会を通じ、国 土交通省、国会議員、県 等に対して要望活動を行 った。	
4		新湘南国道並 びに藤沢大磯 線(湘南新 道)新設改良 促進協議会							協議会構成市町 と連携を図り、 関係機関へ早期 整備を要望す る。	関係機関への 要望回数	5回	5回		100				
5	総	さがみ縦貫道 路の整備促進	茅ヶ崎市の経済 発展や交通環境 向上のため近隣 市町との連携を 図り、関係機関 へ早期整備を要 望する。	市民	政策	関係機関への要 望回数	20回	20回	20回						20回	A	さがみ縦貫道路の早期整 備の要望や側道の付帯施 設等の整備について自治 会や関係機関と協議、調 整を行った。	
5		さがみ縦貫道 路の整備促進							近隣市町との連 携を図り、関係 機関へ早期全線 供用開始を要望 する。	関係機関への 要望回数	20回	20回						
5		さがみ縦貫道 路の整備促進							関係機関へ環境 負荷の軽減を要 望する。	関係機関への 要望回数	20回	20回						

業務棚卸評価シート
(左側)

課かい名	広域事業政策課
施策目標	国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる

基礎情報						平成26年度評価												
事務事業				対象 (顧客)	事業の 性質区分	指標・目標			実績					事後評価				
事業 No.	総括 フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動		決算内訳 (千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)				
5		さがみ縦貫道 路の整備促進																
6	総	首都圏中央連 絡自動車道建 設促進期成同 盟会	ミッシングリンクを 防ぎ、交通環境等の 向上のため、協議会 構成市町と連携を図 り、関係機関へ早期 整備を要望する。	市民	定例 定型	関係機関への要 望回数	5回	5回	5回			40			5回	A	関係自治体と連携を 図り、各種協議会を 通じて要望活動を行 った。	
6		首都圏中央連 絡自動車道建 設促進期成同 盟会								協議会構成市町と 連携を図り、関係機 関へ早期整備を要 望する。	関係機関への 要望回数	5回	5回		40			
7	総	相模川の整備 促進	右岸側に比べ左岸 側の築堤整備が遅 れていることから、 近隣市町との連携 を図り、関係機関 へ早期整備を要 望する。	市民	定例 定型	関係機関への要 望回数	20回	20回	20回				120		20回	A	相模川整備促進協 議会の事務局とし て適正な事務運 営を行い、国や国 会議員等への要 望活動等を行った。	
7		相模川の整備 促進								近隣市町との連 携を図り、関係機 関へ早期整備を 要望する。	関係機関への 要望回数	20回	20回					
7		相模川の整備 促進								国と連携し、説 明会、意見交換 会を行う。	開催回数	1回	1回					
7		相模川の整備 促進								地元調整。	地元との調整 回数	3回	2回					
7		相模川の整備 促進								平成26年度相模 川整備促進協 議会の事務局運 営。	協議会による 幹事会・委員 会・要望活動 等の回数	5回	5回		120			

課かい名	広域事業政策課
施策目標	国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報								平成26年度評価										
事務事業				対象 (顧客)	事業の 性質区分	指標・目標			実績					事後評価				
事業 No.	総括 フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動		決算内訳 (千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動 指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)				
7		相模川の整備 促進																
8	総	小出川の改修 整備促進	台風や集中豪雨 時の雨水放流先 である小出川に ついて、自然環 境に配慮した整 備や河床掘削、 草刈等を関係機 関へ要望する。	市民	政策	関係機関への要 望回数	10回	10回	10回						10回	A	小出川護岸整備におい て、多自然型護岸での整 備を県に要望し、要望ど おりに施工が行われた。	
8		小出川の改修 整備促進						関係機関へ早期 堤防整備や河床 掘削、草刈等の 要望を行う。	関係機関への 要望回数	10回	10回							
8		小出川の改修 整備促進						県と連携し、説 明会、意見交換 会を行う。	開催回数	随時	3回							
9	総	千ノ川の流路 整備、浚渫事 業	千の川の堤防整 備は完了した が、流域住民の 安心安全のため、 河床掘削や 草刈等を県へ要 望し、流路確保 を図る。	市民	定例 定型	関係機関への要 望回数	5回	5回	5回						5回	A	流路確保や適正な維持管 理等を目的に浚せつ工事 や草刈等が施工された。	
9		千ノ川の流路 整備、浚渫事 業						河床掘削や草刈 等を県へ要望す る。	県への要望回 数	5回	5回							
9		千ノ川の流路 整備、浚渫事 業						親水護岸利活用 に関する自治 会、学校等との 協議。	協議の回数	2回	1回							

課かい名	広域事業政策課
施策目標	国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる

基礎情報						平成26年度評価													
事務事業				対象 (顧客)	事業の 性質区分	指標・目標			実績					事後評価					
事業 No.	総括 フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動		決算内訳 (千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析	
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)					活動ごとの 決算額
10	総	北部地域道路 整備事業	県立茅ヶ崎里山公園の外周道路や北部地域地元要望道路について、生活環境や利便性の向上のため関係機関や地元自治体と密に調整し、早期整備を図る。	市民	政策	事業の進捗状況 工事延長=m	0m	275m	160m					60,885	68,473	業務 計画	地域との調整5回、8570号線道路工事、埋蔵文化財整理作業業務委託	A	市道8570号線は157m整備済、埋蔵文化財整理作業業務委託は目標どおり完了した。
10		北部地域道路 整備事業								北部地域地元要望道路について地元調整を行う。	地域や関係機関、関係各課との調整回数	5回	5回			業務 計画			
10		北部地域道路 整備事業								茅ヶ崎里山公園の外周道路の整備。	①市道8570号線埋蔵文化財整理作業報告書作成 ②道路改良工事	①27年3月末 ②132m ※②については道路建設課にて実施 ※②の予算57,154千円については道路建設課に配当替)	①27年3月完了 ②157m整備	60,885		業務 計画			
11	総	県立茅ヶ崎里山公園整備の促進	早期整備を県に要望するとともに、整備後の有効的な利活用等について県や公園協会、地域団体協議を行い北部地域の活性化を図る。	市民	定例定型	関係機関への要望回数	10回	5回	5回						8	業務 計画	2回	A	里山公園運営委員会に出席し、公園の運営や利活用等について協議を行った。
11		県立茅ヶ崎里山公園整備の促進								公園の有効的な利活用について関係機関等と協議、調整する。	運営会議への出席回数	2回	2回		8				
12	総	国道1号電線 地中化整備の促進	国道1号の電柱や電線の地中化により、歩道幅や段差、見通し等が改善され、歩行者の安全が確保されるよう早期整備を要望する。	市民	定例定型	国・関係機関への要望活動回数	10回	10回	10回								10回	A	市民集会等要望も多いことからあらゆる機会をとらえ、国に要望を行った。

基礎情報			平成27年度計画						経営改善方針の重点事項に係る取組						広域連携に関する取組		今後の事業展開						
事務事業			活動						経営改善方針での位置付け等	経営改善による取り組みの方向性	目標 (数値目標等)	目標の定義	改善時期 (年度)	具体的な改善内容	広域連携の実施	広域連携の具体的な内容	必要性				事業の方向性	予算の方向性	
事業No.	総括フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	活動	活動量・サービス量		従事者数	予算内訳(千円)										業務計画	①目的達成	②ニーズ	③成果			④継続性
				活動指標の名称	目標値		当該事務事業全体の予算額(合計)	活動ごとの予算額															
10	総	北部地域道路整備事業				0.23	31,547		業務計画	なし					不可		未	高	高	高	現状維持	維持	
10		北部地域道路整備事業	北部地域地元要望道路について地元調整を行う。	地域や関係機関、関係各課との調整回数	5回				業務計画														予算なし
10		北部地域道路整備事業	茅ヶ崎里山公園の外周道路の整備。	①市道8570号線埋蔵文化財整理作業報告書作成 ②道路改良工事	①28年3月末 ②130m ※②については道路建設課にて実施 ※②の予算27,584千円については道路建設課に配当替)		31,547		業務計画														維持
11	総	県立茅ヶ崎里山公園整備の促進				0.05	15			なし					不可		未	高	高	高	現状維持	維持	
11		県立茅ヶ崎里山公園整備の促進	公園の有効的な利活用について関係機関等と協議、調整する。	運営会議への出席回数	2回			15															維持
12	総	国道1号電線地中化整備の促進				0.04				なし					不可		未	高	高	高	現状維持	予算なし	

課かい名	広域事業政策課
施策目標	国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報						平成26年度評価												
事務事業				対象 (顧客)	事業の 性質区分	指標・目標			実績					事後評価				
事業 No.	総括 フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動		決算内訳 (千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)				
15	総	関東国道協会 事務	茅ヶ崎市の経済 発展や交通環境 向上のため協議 会構成市町と連 携を図り、関係 機関へ早期整備 を要望する。	市民	関係機関への要 望回数	5回	5回	5回				40		5回	A	協議会構成市町と連携を 図り、要望活動を行っ た。		
15		関東国道協会 事務							協議会構成市町 と連携を図り、 関係機関へ早期 整備を要望す る。	関係機関への 要望	5回	5回	40					
16	総	小出川及び国 道の道路の美 化活動の促進	国や県と協し て、地域住民、 企業等の美化活 動をサポートし、 道路・河川 の美化を図る。	市民	広報・収集ゴミ 回収回数	28回	28回	28回						23回	B	各市民団体や、国、県と 連携を図り、国道や河川 の美化活動を推進した。		
16		小出川及び国 道の道路の美 化活動の促進							地域団体が行う 草刈り清掃や植 栽等の河川美化 活動の支援を行 う。	広報・ゴミ収 集協力回数	18回	18回						
16		小出川及び国 道の道路の美 化活動の促進							地域団体、企業 等が行う歩道清 掃、除草、花の 管理等道路美化 活動の支援を行 う。	広報・ゴミ収 集協力回数	10回	5回						
17	総	北部地区活性 化事業	多くの人に北部 地区(芹沢)へ 来ていただき海 だけではなく 茅ヶ崎市の良さ を知っていただ くため、北部の まちおこし・活 性化を図る。	市民	事業実施回数	10回	10回	10回				52		10回	A	地元の市民団体と協力 し、北部活性化を推進し た。		
17		北部地区活性 化事業							せりざわ彼岸花 の会と連携を 図り、北部地区 の活性化を支援 する。	事業実施及び 打合せ回数	10回	10回	52					

課かい名	広域事業政策課
施策目標	国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報										平成26年度評価								
事務事業				対象 (顧客)	事業の 性質区分	指標・目標			実績				事後評価					
事業 No.	総括 フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動		決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動 指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)				
18		さがみ縦貫道路・藤沢大磯線整備に伴う関連事業																
19	総	北部地域道路整備関連事業	地域住民の生活環境向上のため、北部地域の道路整備において取得した事業用地の維持管理を行う。	市民	定例定型	実施回数	2回	2回	2回				135			A	夏季と秋季に道路事業用地の草刈りを行い、適正な維持管理を図った。	
19		北部地域道路整備関連事業							用地測量・用地維持管理業務委託。	実施回数	2回	2回		135				
20	総	相模川左岸新田・萩園地区の堤外地土地利用の検討	関係機関や関係各課と連携を図り、土地利用を検討する。	市民	政策	関係機関・関係各課との調整回数	5回	5回	5回						2回	B	今後の堤外地土地利用の方向性を検討した。	
20		相模川左岸新田・萩園地区の堤外地土地利用の検討							土地利用の可能性について関係機関や関係各課と調整。	関係機関・関係各課との調整回数	5回	2回						
20		相模川左岸新田・萩園地区の堤外地土地利用の検討							土地利用検討結果の最終的なまとめを行う。	検討結果資料の作成	3月	3月						
21	総	国・県の施策・制度予算に関する要望調整事務	本市の施策の推進と当面の課題解決を図るため、国・県の施策や予算等に関する要望を行う。	市民・事業者	定例定型	要望の実施回数	2回	2回	2回						3回	A	国・県へ効果的な要望となるよう、要望事項について庁内の協議を進め、要望事項を取りまとめることができた。	
21		国・県の施策・制度予算に関する要望調整事務							国への要望書の照会、取りまとめ、庁内調整、要望書作成。	要望の実施回数	1回	2回						
21		国・県の施策・制度予算に関する要望調整事務							県への要望書の照会、取りまとめ、庁内調整、要望書作成。	要望の実施回数	1回	1回						

課かい名	広域事業政策課
施策目標	国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報						平成26年度評価												
事務事業				対象 (顧客)	事業の 性質区分	指標・目標			実績					事後評価				
事業 No.	総括 フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動		決算内訳 (千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動 指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)				
22	総	地域活性化施策支援事業	各課の地域活性化施策を支援するため、(財)地域活性化センターで行う支援事業を活用する。	職員	定例定型	支援事業の活用	1件以上/年	1件以上/年	1件以上/年						2件	A	地域活性化センター事業の活用(アドバイザー派遣、イベントスペースの活用)に繋がった。	
22		地域活性化施策支援事業								庁内調整事務	支援事業の活用	1件以上/年	2件		140			
23	総	湘南広域都市行政協議会事務	藤沢市及び寒川町との連携・協調を図るため、各種情報交換を行い、広域連携の可能性を検討する。	市民・事業者・職員	政策	湘南広域都市行政協議会の開催回数	年6回	年6回	年6回						4回	A	新たな広域連携施設について事業の実現に繋がる調査研究を行った。	
23		湘南広域都市行政協議会事務								協議会日程調整及び事務研究部会への出席。	協議会の開催回数	年6回	4回		2,992			
24	総	旅券発給事務	県から権限移譲を受け、身近な場所で手続を可能とする。	市民	定例定型	調整会議の開催回数	年4回	年4回	年4回						2回	A	事務が適正に行われるよう市町との情報共有を図った。	
24		旅券発給事務								旅券発給業務の運営の調整。	調整会議の開催回数	年4回	2回					
25	総	湘南地域市町連絡協議会事務	県政総合センターを中心とした5市3町の連携・協調を図るため、各種情報交換を行う。	市民・事業者・職員	定例定型	会議等の開催回数	3回	3回	3回						1回	A	湘南地域の連携を深め、共通の課題の情報共有ができた。	
25		湘南地域市町連絡協議会事務								会議日程等の調整及び協議会への出席。	会議等の開催回数	年3回	1回					

課かい名	広域事業政策課
施策目標	国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報						平成26年度評価												
事務事業				対象 (顧客)	事業の 性質区分	指標・目標			実績					事後評価				
事業 No.	総括 フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動		決算内訳 (千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動 指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)				
26	総	湘南地域首長 懇談会事務	県と湘南地域の 連携を深め、諸 課題の効果的な 解決を図るため、県知事と湘 南地域の首長の 懇談会を開催す る。	市民・ 事業 者・職 員	定例 定型	開催回数	1回	1回	1回						1回	A	県と湘南地域の自治体との 諸課題について情報共 有を図り、意見交換を 行った。	
26		湘南地域首長 懇談会事務								日程・発言等の 調整及び会議へ の出席	開催回数	年1回	1回					
27	総	平塚市・茅ヶ 崎市広域連携 推進協議会事務	平塚市との連 携・協調を図る ため、各種情報 交換を行い、広 域連携の可能性 を検討する。	市民・ 事業 者・職 員	定例 定型	協議会等の開催 回数	年2回	年2回	年2回						1回	A	協議会の開催や行政課題 の調査・研究を行い連携 を推進できた。	
27		平塚市・茅ヶ 崎市広域連携 推進協議会事務								新たな連携項目 や会議日程等の 調整及び協議 会・研修会への 出席。	協議会等の開 催回数	年2回	2回					
28	総	厚木基地騒音 対策事務	厚木基地航空機 訓練に伴う騒音 対策のための活 動を行う。	航空機 騒音の 被害を 受けて いる市 民等	定例 定型	航空機騒音に関 する苦情件数	30件	30件	30件				80		145件	A	積極的に要請活動に参加 し、市民の方から頂いて いる意見を関係機関へ伝 えることができた。	
28		厚木基地騒音 対策事務								厚木基地騒音対 策協議会参加。	協議会等参加 回数	年5回	5回	60				
28		厚木基地騒音 対策事務								厚木基地関係市 連絡会議参加。	会議参加回数	年4回	3回	20				
28		厚木基地騒音 対策事務								厚木飛行場から の空母艦載機の 移駐等に関する 協議会参加。	会議参加回数	年1回	1回					
28		厚木基地騒音 対策事務								基地騒音対策要 請活動。	要請回数	年4回	4回					

課かい名	広域事業政策課
施策目標	国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報										平成26年度評価								
事務事業				対象 (顧客)	事業の 性質区分	指標・目標			実績				事後評価					
事業 No.	総括 フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動		決算内訳 (千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動 指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)				
31	総	寒川町との広域連携推進事務	寒川町との効率的な行政運営を推進するため、課題の整理を行い、広域連携事業を実施に向け検討する。	寒川町・関係各課	政策	調査研究に取り組んだ事務数	2事業	2事業	2事業					業務計画	7事業	A	新たに連携可能な事業について、両市町で調査研究し、効果や課題についてまとめることができました。	
31		寒川町との広域連携推進事務								課題解決に向けた調査研究及び検討会議の実施。	会議の開催	年3回	3回					
31		寒川町との広域連携推進事務								広域連携制度の調査研究。	機関等の共同設置の課題整理時期	年度末	年度末					
31		寒川町との広域連携推進事務								(仮)河童徳利公園整備に係る調査研究。	事業手法の決定時期	年度末	年度末					
31		寒川町との広域連携推進事務								推進計画の進捗管理。	分科会への参加及び事務事業の進捗状況の把握	随時	5回					
31		寒川町との広域連携推進事務																
888	総	災害応急対策活動	市域に地震・津波等による大規模災害が発生した場合に、被害を軽減するため応急対策活動を課として迅速、的確に対処する。	全市民等	定例定型													
888		災害応急対策活動								応急対策活動マニュアルの充実。	マニュアルの見直し	26年4月	26年4月					

課かい名	広域事業政策課
施策目標	国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報										平成26年度評価									
事務事業					指標・目標					実績				事後評価					
事業No.	総括フラグ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)	対象 (顧客)	事業の 性質区分	名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動			決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動量・サービス量		当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額					
											活動 指標の 名称	目標値			実績値				
888		災害応急対策活動								応急対策業務の実施手順の検証。	行動手順書の見直し	26年4月	26年4月						
888		災害応急対策活動								所属職員の応急対策業務の実施手順の習熟。	所属内での訓練・研修実施	随時	2回						
888		災害応急対策活動								統括調整部広域連携班の応急対策活動の習熟。	統括調整部広域連携班での訓練・研修等の実施	6回	6回						
888		災害応急対策活動								災害時協定締結先との連携強化。	災害時の対応についての協議	随時	2回						
888		災害応急対策活動								関係機関との連携強化。	災害時の対応についての協議	随時	3回						
888	総	庁内共通事務												61	61				

